

令和元年度事業報告書  
(簡略版)

社会福祉法人誠友会

# 〔1〕 概要

## 1. 法人及び施設の概要

### (1) 法人

- ① 法人名 社会福祉法人誠友会
- ② 所在地 千葉県佐倉市岩名1011番地
- ③ 代表者 理事長 竹内 淳
- ④ 設立年月日 昭和63年11月4日
- ⑤ 目的 多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援する。

### ⑥ 役員 8名

令和2年3月31日現在

| 役職名  | 氏名    | 住所                            | 公職等           |
|------|-------|-------------------------------|---------------|
| 理事長  | 竹内 淳  | 〒285-0011 佐倉市山崎 368           | 誠友会統轄施設長      |
| 常務理事 | 竹内久美子 | 〒285-0011 佐倉市山崎 368           | はくすい保育園 施設長   |
| 理事   | 木村 正久 | 〒285-0015 佐倉市並木町 243          | 木村医院 医師       |
| 理事   | 鈴木敬一朗 | 〒286-0047 成田市江井須 220-81       | 特養栄白翠園 施設長    |
| 理事   | 安宅 香織 | 〒264-0025 千葉市若葉区都賀 3-1-20-304 | 特養佐倉白翠園 施設長   |
| 理事   | 寺田 純子 | 〒286-0047 佐倉市宮ノ台 5-12-8       | 佐倉市社会福祉協議会理事  |
| 監事   | 佐藤 満  | 〒284-0008 四街道市鹿放ヶ丘 305-2      | 元四街道市福祉サービス部長 |
| 監事   | 井戸川員三 | 〒284-0001 四街道市大日 470-36       | 千葉県四街道市監査委員   |

### ⑦ 評議員 7～9名

| 役職名 | 氏名    | 住所                         | 公職等               |
|-----|-------|----------------------------|-------------------|
| 評議員 | 大久保靖夫 | 〒270-1516 栄町安食 3660        | NPO法人 栄町観光協会理事長   |
| 評議員 | 中野いく子 | 〒285-0025 佐倉市鍋木町 235       | 桜美林大学加齢発達客員研究員    |
| 評議員 | 櫻井 肇  | 〒285-0011 佐倉市山崎 500-1      | 前佐倉市内郷地区社会福祉協議会会長 |
| 評議員 | 峰村 愛子 | 〒285-0034 佐倉市千成 1-20-4     | ボランティア代表          |
| 評議員 | 田代 道郎 | 〒112-0002 東京都文京区小石川 3-16-8 | 元入所者家族代表          |
| 評議員 | 萩原 勝世 | 〒285-0812 佐倉市城 203-2       | 松ヶ丘防犯グループ会長       |
| 評議員 | 穴原 昌弘 | 〒270-1515 栄町安食台 2-5-17     | 栄町民生・児童委員協議会顧問    |
| 評議員 | 西原 弘明 | 〒285-0850 佐倉市ユ-カリが丘 1-24-1 | 社会福祉法人愛光 理事長      |

### ⑧ 評議員選任解任委員 3名

| 役職名  | 氏名    | 住所                       | 選出分野         |
|------|-------|--------------------------|--------------|
| 監事   | 佐藤 満  | 〒284-0008 四街道市鹿放ヶ丘 305-2 | 誠友会 監事       |
| 事務局  | 大澤 幸男 | 〒285-0005 佐倉市宮前 2-11-4   | 誠友会総合事業推進室室長 |
| 外部委員 | 野口 恭義 | 〒285-0861 佐倉市臼井田 1029    | 元誠友会理事・評議員   |

## 2 会議開催状況

(1) 理事会 全6回 評議員会 全3回

主な議題

定款変更、事業報告、事業計画、予算、決算、定款、各種規程変更、補欠評議員、理事選定について

(2) 評議員選任・解任委員会 全1回

(2) 苦情処理委員会開催状況 全2回

(3) 合同経営会議 全12回

3 公開講座（福祉講話） 全2回

## 2

## 佐倉白翠園

令和元年度事業報告のポイントは5点、(1)従来型ショート特養転換、(2)技能実習生受け入れ、(3)IT機器試行 (4)災害と感染症 (5)ガバナンス強化を意図した職員異動です。

職場内コミュニケーションや介護を見直すことに繋がり、職員の意識が向上した。特養転換は、経営面への良い結果と生活の場をより意識することに繋がった。

### [1] 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）

1 指定施設サービス内容 定員64名

### 2 会議等

所属長会議（全38回） 給食委員会（全11回）

職員全体会議（全2回） 衛生委員会（全12回）

経営会議（全12回） 感染症対策委員会（全12回）

看護会議（全12回） 行事委員会（全9回）

介護会議（全体会議2回）

介護リーダー会議（全11回）

※ 事故防止員会、安全対策委員会、褥瘡対策委員会、虐待防止委員会同日開催  
個別処遇会議（全46回）

入所（入居）検討委員会（全15回）

### 3 防災

(1) 防災訓練実施日及び内容 全11回

### 4 ボランティア活動

(1) ボランティア活動年間延べ671人（前年度 1052人）

(2) ボランティア懇談会 全2回

### 5 地域交流事業 全7回

6 実習生受け入れ状況 年間実人数 18名 延べ人数 99人 延べ日数 36日

福祉・医療系 教育系等

### 7 各部門

【生活相談室】 正職1名

特養転換により定員が64名となり一時的に稼働率は低下した。その後、目標稼働率より高い数字を平均的に維持することで前年度に近い平均稼働率まで持ち直すことが出来た。

(1) 年間平均稼働率 95.6%（前年度95.8%）

(2) 平均介護度 4.0（前年度 4.22）

(3) 平均年齢 85.4歳（前年度 86.5歳）

【看護室】 加算配置 1 名 正職 1 名 嘱託・パート：6 名（ショート・デイ・ユニット兼務）

感染症の流行は見られなかった。早期受診により、重症化を防ぐことが出来た。看取りによる園内死亡率が高かった。

- (1) 病院受診状況 年間延べ 751 名 (前年度年間延べ 646 名)  
 (2) 入院状況 年間 34 名 (前年度年間 22 名)  
 (3) 死亡者数 年間 10 名 (園内看取り 9 名) (前年度 6 名)

【栄養室】 配置正職 1 名（ショート・デイ・保育兼務）

昨年に続き全体的な食レベルが低下、きざみ、超きざみ食が 60% となった。ペースト食においては、全員が減量での提供となっている。

【介護部】 正職 19 名 嘱託・パート 19 名（ショート担当兼務 6 名）

ショートステイ定員を特養転換し、ショートステイ定員 10 名、特養定員 64 名とした。また、9 月より、スリランカ技能実習生を受け入れた。

- (1) 年間行事参加人数（SS 含） 789 名（前年度 782 名）  
 (2) 年間誕生会参加人数（SS 含） 696 名（前年度 693 名）  
 (3) 年間クラブ・レク実施状況（SS 含） 116 回（前年度 116 回）  
 (4) 精神スケール調査

令和元年 11 月 15 日～11 月 30 日 改訂 長谷川式スケール調査

|       | カットオフポイント | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
|-------|-----------|----------|----------|
| 非認知症  | 21 点以上    | 3        | 4        |
| 認知症   | 20 点以下    | 30       | 42       |
| 調査不可能 | —         | 16       | 17       |
| 未調査   | —         | 1        | 1        |
| 合計    | —         | 50       | 64       |

[2] 特別養護老人ホーム（ユニット型介護老人福祉施設）

1 指定施設サービス内容 定員 50 名（1 ユニット 10 名×5 ユニット）

2 会議等 介護全体会議 全 2 回 ユニットリーダー会議 全 9 回  
 ※ 事故防止委員会、褥瘡対策委員会、行事委員会同日開催  
 ユニット会議 全 3 回

3 ボランティア協力状況 年間延べ 95 名（前年度 77 名） 個人ボランティアが多い傾向

4 各部門

【生活相談室】 専任正職 1 名

上半期に退居が相次いたが、下半期は持ち直し前年度とほぼ同程度の稼働率になった。加算の安定的な算定等により稼働額は上昇した。

- (1) 年間平均稼働率 95.7%（前年度 95.8%）  
 (2) 平均介護度 3.7（前年度 3.64）  
 (3) 平均年齢 89.2 歳（前年度 88.4 歳）

【看護室】 加算配置 1 名 正職 1 名 嘱託・パート：6 名（ショート・デイ・ユニット兼務）

感染症の流行は見られなかった。早期受診により、重症化を防ぐことが出来た。看取りによる園内死亡率が高くなった。

- 病院受診状況 年間延べ 647 名 (前年度年間延べ 696 名)  
 (1) 入院状況 年間 33 名 (前年度年間 40 名)  
 (2) 死亡者数 年間 9 名 (園内看取り 5 名) (前年度 5 名)

【栄養室】 正職兼務1名

ユニット型は常食を基本とし、利用者の目の前で刻む食事提供を基本として実施。栄養状態や食レベル低下が増加し、厨房にて超きざみ食、ペースト食を多く提供する傾向となった。また、嚥下レベルにより水分トロミ付きが増加した。

【介護部】 正職11名、パート16名（うち育児休業中1名）

介護ロボット（見守りセンサー）を導入し、入居者の安全、事故防止に努めている。人員がやや充足し、下半期よりケア会議の定期的開催を取り組みはじめることができた。入居者のレベル低下傾向である。

- (1) 年間行事参加 27回（前年度30回）
- (2) 年間誕生会回数 32回（前年度31回）
- (3) 精神スケール調査

令和2年3月1日～3月15日 改訂 長谷川式スケール調査

|       | カットオフポイント | 平成30年度 | 平成31年度 |
|-------|-----------|--------|--------|
| 非認知症  | 21点以上     | 6      | 3      |
| 認知症   | 20点以下     | 30     | 37     |
| 調査不可能 | —         | 11     | 8      |
| 未調査   | —         | 3      | 2      |
| 合計    | —         | 50     | 50     |

[3] ショートステイサービス（短期入所生活介護事業）

1 指定居宅サービスの内容 定員10名

2 会議等 ショートステイ会議 全6回

3 各部門

【生活相談室】 正職1名（従来型介護職員兼務）

今年度より14床を特養転換し、定員数を10床へと変更した。その影響から稼働率は上昇している。

- (1) 年間平均稼働率 88.4% 平均利用 8.8名  
(前年度 79.9% 19.1名)

【看護室】 加算配置1名 正職1名、嘱託・パート：6名（ショート・デイ・ユニット兼務）

長期利用者が減少、医療行為利用者はいなかった。

- (1) 年間医療行為利用者 述べ0名（前年度 12名）

【栄養室】 正職1名（従来型・デイ・保育兼務）

常菜・一口大での提供数がやや増加しているとともに、箸も使用する利用者が95%、逆にスプーンのみ使用が5%となっており、全体的な食事に対するレベルが上がっている傾向にある。

- (1) オヤツ作り 年3回

【介護部】 従来型に準ずる。

[4] デイサービスセンター（通所介護事業）

1 指定居宅サービス内容

通常規模型通所介護（定員）月曜～土曜：25名

2 会議等 デイ会議 全12回

3 ボランティア協力状況 年間延べ267名（前年度325名）

4 実習生受け入れ状況 年間実人数 21名 延べ日数 12日 医療系、介護系

5 各部門

【生活相談室】 専任正職1名 兼務2名

8月より定員30名から25名に変更。その影響により稼働率は上昇したが、新規利用者は定員縮小や新型コロナの影響を受け大幅に縮小した。3月より個別機能訓練については休止しているが、コグニサイズを導入し機能訓練に努めている。

- (1) 稼働率 通常・予防型 年間平均稼働率 74.5% 平均利用 19.5名/日  
(前年度 70.6% 20.5名/日)
- (2) 平均年齢 85.8歳 (前年度 83.8歳)
- (3) 新規利用者数 通常型 8名 (前年度 32名)
- (4) 中止者数 通常型 15名 (前年度 17名)

【看護室】 嘱託・パート：5名 (従来型・ショート・デイ・ユニット兼務)

医療行為利用者はなし。2月より個別機能訓練Ⅱは休止中。(年間 107名)

- (1) 年間運動器機能 年間 2名 (前年度 0名)
- (2) 医療行為件数 年間 延べ人数 0名 (胃瘻、バルン留置者)

【栄養室】 正職1名 (従来型・ショート兼務)

おやつ作りを栄養室運営にて実施。

行事食実施状況 季節の行事ごとに実施 端午の節句、クリスマスメニュー等

- ① オヤツ作り 8回

【介護部】 正職1名 (内1名兼務) 嘱託、パート10名 (内1名兼務)、

園内外活動状況 (園外) 1回

(園内) 行事やレクリエーション、クラブ活動並びに誕生会毎月

6 介護者のつどい (佐倉市委託事業) 全7回※新型コロナウイルスの影響により3月中止

[5] ケアサービスセンター

特定事業所加算Ⅲ

トータル利用件数は多いが、地域包括支援センターからの委託ケースである要支援等が多いため、介護報酬減となっている。

1 利用規模 117名 ※支援1.2事業対象は2名で1名

2 会議等 ケアマネ会議 全51回

3 職員数 正職3名

4 利用状況

新規プラン受付 年間42件 (前年度90件)

年間利用件数 支援等 499件 (前年度 426件) 平均 42件/月  
要介護 1087件 (前年度 1207件) 平均 91件/月

### 3

## 栄白翠園

入所者の重度化に伴い、カリキュラムや処遇を見直した。事業全般としては良い結果が残せたが、人材確保に苦慮した1年だった。そんな中、技能実習生の存在は新たな希望を感じさせるものであった。

#### [1] 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）

1 指定施設サービス内容 定員50名

#### 2 会議等

|               |                          |
|---------------|--------------------------|
| 所属長会議（全53回）   | 給食委員会（全12回）              |
| 職員全体会議（全2回）   | 衛生委員会（全12回） 安全対策委員会（12回） |
| 経営会議（全12回）    | 感染症対策委員会（全12回）           |
| 看護会議（全12回）    | 行事委員会（全12回）              |
| 介護部職員会議（全12回） | 施設・在宅合同リーダー会議（全12回）      |
| 個別処遇会議（全20回）  | 入所検討委員会（全12回）            |
| 褥瘡対策委員会（12回）  | 身体拘束適正化検討委員会（全4回）        |

#### 3 防災

(1) 防災訓練実施日及び内容 全12回

4 ボランティア活動 年間延べ272人（前年度 263人）

5 地域交流事業 全2回

6 実習生受け入れ状況 年間実人数18名 延べ人数86人 延べ日数24日 医療系

#### 7 各部門

##### 【生活相談室】 正職1名

入院や退所の件数は前年より少なかったものの、月によって偏りがあり稼働率の上下幅が大きかった。いずれも早期対応を行うことにより、年間の平均ではほぼ前年度同様の稼働率を維持できた。また、台風による被害や新型コロナウイルス感染症の流行があり、マニュアルや備蓄を見直した。近隣市町村の感染症流行状況に合わせて面会制限等の対策を行うことで、未然に防ぐことができている。

- (1) 年間平均稼働率 96.6%（前年度 96.7%）
- (2) 平均介護度 3.91（前年度 3.86）
- (3) 平均年齢 88.0歳（前年度 87.9歳）

##### 【看護室】 正職：3名（2名デイ兼務） パート：2名

医療的ニーズが高い入居者の増加により受診件数も多くなったが、嘱託医を始め近隣の医療機関との連携に加え、協力病院でのカルテ診察を実施できたことで入院者を減少することができた。また、ご家族が園での看取りを希望された結果、死亡者数の増加に繋がっている。

- (1) 病院受診状況 年間延べ826名（前年度年間延べ748名）
- (2) 入院状況 年間 23名（前年度年間 33名）
- (3) 死亡者数 年間 11名（前年度5名）

##### 【栄養室】 正職1名（ショート・デイ兼務）

栄養管理面では、高リスク者の割合が増加したが、他職種と連携し、早期に対応できた。昨年と比較し、主食では全粥（ミキサー粥）、副食では刻み・ミキサー食の割合が増加し、食事のレベルが低下している。自然災害を想定した防災食の見直しをした。

- ・ 主食 米飯：47%、全粥（ミキサー粥）：47%、パン：12%

- ・ 副食 常菜(一口大) : 24%、荒(きざみ) : 45%、極小(ミキサー) : 22%、経管栄養 : 8%

【介護部】正職 15名 (ショート担当3名) 嘱託・パート7名 派遣3名

入居者の重度化がすすんでおり、身体状況に合わせた食事や離臥床時間を考慮した個別処遇の充実をはかった。新たなる人材として技能実習生が就職し良い刺激となり、入居者も大変喜んでいて。

- (1) 年間行事参加人数 (ショート含) 582名 (前年度646名)
- (2) 年間誕生会参加人数 (ショート含) 621名 (前年度600名)
- (3) 年間クラブ・レク実施状況 (ショート含) 25回 (前年度31回)
- (4) 精神スケール調査

令和2年2月1日～2月28日 改訂 長谷川式スケール調査

|       | カットオフポイント | 平成30年度 | 令和元年度 |
|-------|-----------|--------|-------|
| 非認知症  | 21点以上     | 2      | 3     |
| 認知症   | 20点以下     | 38     | 32    |
| 調査不可能 | —         | 10     | 10    |
| 未調査   | —         | 0      | 5     |
| 合計    | —         | 50     | 50    |

[2] ショートステイサービス (短期入所生活介護事業)

1 指定居宅サービスの内容 定員 10名

2 会議等 ショートステイ会議 全12回

3 各部門

【生活相談室】 正職1名 (介護支援専門員兼務)

下半期より新規の利用者が増え、定期利用に繋げることができ、目標稼働率を上回ることが出来た。また、自然災害による緊急の受け入れも行っている。昨年度と比べ平均介護度は上がってきており、重度化に伴ったカリキュラムの検討を行った。

- (1) 年間平均稼働率 91.4% 平均利用 9.1名  
(前年度 84.0% 8.4名)

【看護室】

医療的アプローチが必要な利用者の増加や長期利用に伴い、医療行為が倍増した。

- (1) 年間医療行為利用者 延べ 111名 (前年度 56名)

【栄養室】 正職1名 (特養・デイ兼務)

昨年と比較して、米飯常菜の占める割合が増加した。手作りおやつ等のイベントに栄養室として積極的に参加した。

- ・ 主食 米飯 : 74%、全粥(ミキサー粥) : 23%、パン : 3%
- ・ 副食 常菜(一口大) : 67%、荒(きざみ) : 20%、ミキサー食 : 10%

【介護部】 従来型に準ずる

手作りおやつや鍋企画、月替わりドリンクも例年通り楽しんでいただけた。3月は新型コロナウイルスの関係で手作りおやつを中止した。

[3] デイサービスセンター (通所介護事業)

1 指定居宅サービス内容

通常規模型通所介護 (定員) 月曜～土曜 : 25名

2 会議等 デイミーティング 全12回

3 ボランティア協力状況 1名 (洗車) 延べ回数 (19回)



#### 4 各部門

##### 【生活相談室】 正職2名

新規利用者も安定し利用に繋げることができ、前年度より稼働率が上昇した。要支援者数の増加に伴いカリキュラムの見直しや区分変更の提言を行った。

稼働率 通常・総合 年間平均稼働率 72.9% 平均利用 19名/日  
(前年度 70.3% 19名/日)

- (1) 平均年齢 84.8歳(前年度86.2歳)
- (2) 新規利用者数 通常型 22名(前年度23名)
- (3) 中止者数 通常型 12名(前年度23名)

##### 【看護室】 正職2名(特養と兼務) パート:2名

リハビリによるADLの維持向上と、健康管理に留意した。

- (1) 医療行為者延べ人数2名(回数) 胃瘻99回 バルン留置者11回

##### 【栄養室】 正職1名(特養・ショート兼務)

昨年と比較して、米飯常菜の割合が増加している。毎月実施する誕生会にて、手作りケーキを提供した。

主食 米飯:93%、全粥(ミキサー粥):5%  
副食 常菜(一口大):91%、荒(きざみ):7%、極小(ミキサー):0%

##### 【介護部】 正職1名 嘱託・パート:5名

毎月行う誕生会や手工芸、季節の行事に取り組み楽しんでいただくことができた。

#### [4] 在宅介護支援センター(委託事業)

町内の相談件数は減少しているが、計上していない町外からの相談件数は増加している。年金のことなど介護以外の相談も増えてきている。

- 1 利用規模 栄町全域
- 2 職員数 居宅介護支援事業所と兼務
- 3 利用状況  
対応件数 34件(前年度 45件)

#### [5] ケアサービスセンター

要支援者及び総合事業対象者の依頼が増加している。また、訪問診療や訪問リハビリ等の事業所が需要に応じて急増している。

- 1 利用規模 介護給付68名 予防給付22名
- 2 会議等 ケアサービスセンター会議 全12回
- 3 職員数 正職兼務2名(うち1名は短期入所生活介護事業相談員を兼務)  
嘱託兼務1名

#### 4 利用状況

新規プラン受付 年間32件(うち予防給付11件)(前年度34件(うち予防給6件))  
年間利用件数 要支援 212件 平均 17.7件/月(前年度 116件)  
要介護 725件 平均 60.4件/月(前年度 829件)

## 4

## 松ヶ丘白翠園

## [1] サービス付き高齢者向け住宅

前年度末時点で入居者数は12名だったが、今年度末は19名となった。松ヶ丘白翠園内の社会資源を活用し、建物がつながっている松ヶ丘白翠園カルチャー館利用者は19名中10名、松ヶ丘白翠園スポーツ館利用者は5名となっている。介護予防拠点事業（「歌笑会」「松ヶ丘マルシェ」「未来運動教室」）への参加も実施。

同一建物内にある「松ヶ丘クリニック」をはじめとした医療機関との連携や、生協・移動販売業者・宅配弁当業者等の受け入れ等も行い、入居者のニーズに合わせた対応を進めている。

1. サービス内容 定員 26 名 (26 戸)

2. 会議等

職員全体会議 全2回 処遇会議 全6回

3. 稼働率 68.5% (前年度 42.3%)

4. 平均年齢 84.4 歳 (前年度 80.4 歳) 平均介護度 0.9 (前年度 1.5)

## [2] デイサービスセンター

1 指定居宅サービス内容 大規模型通所介護Ⅱ

(定員) 月曜～土曜：50名

(内、スポーツ館(本体事業所) 25名/カルチャー館(サテライト事業所) 25名)

2 会議等

経営会議 全8回 スポーツ館介護会議 全6回

カルチャー館介護会議 全6回

3 防 災

(1) 防災訓練実施日及び内容 全13回

4 ボランティア協力状況 年間延べ421名(前年度203名)

5 介護予防拠点事業

(1) 松ヶ丘団地 地域交流会「歌笑会」 全21回(毎月第2日曜日・第4日曜日実施)  
(3月は新型コロナウイルスの関係で中止)

(2) 松ヶ丘マルシェ(青空市場) 全1回(7月28日開催)

(3) 未来運動教室 全11回(9月～11月の毎週水曜日午前中開催)

6 各部門

【生活相談室】 専任正職 1 名 兼務 1 名

今年度より「レクケアデイサービス Joh」をサテライト事業所「松ヶ丘白翠園カルチャー館」として統合する。また、本体事業所は「松ヶ丘白翠園スポーツ館」に名称変更する。

令和元年8月1日より、両館全営業日の定員を25名に統一したが、稼働率は本体事業所のみだった昨年度に比べて低下した。また、サテライト型として発足するにあたり大規模型通所介護Ⅱに変更となり、統合前よりも1利用者ごとの介護報酬が減少した。

(1) 稼働率 通常・総合 年間平均稼働率 70.5% 平均利用 36名/日  
(前年度 75.5% 20.4名/日)

(2) 平均年齢 83.0 歳 (前年度 82.6 歳)

(3) 新規利用者数 通常・総合 62 名 (「レクケアデイサービス Joh」からの引継ぎ含む) (前年度 9 名)

(4) 中止者数 通常・総合 26 名 (前年度 27 名)

【看護室】 パート4名（佐倉白翠園兼務2名）

サテライト型の利点を活かしてスポーツ館・カルチャー館を総合的に対応する体制作りを進めている。

(1) 年間運動器機能 年間延 2874 名（前年度 1484 名）

【栄養室】 正職1名 パート8名

（株）レクケアの調理部門を法人統合したことに伴い栄養室が発足した。正職の栄養士の加入もあり、栄養室業務を再構築している。

(1) 季節に合わせた行事食を年間7回実施。

(2) カルチャー館の調理クラブを年間51回実施（4月～2月で月平均4.6回実施。3月は新型コロナウイルスの関係で中止）。

【介護部】 正職3名 嘱託1名 パート10名 派遣1名

サテライト型の体制を活かした、スポーツ館・カルチャー館での業務体制の見直しや、送迎の一本化による車輛運用の効率化等を進めている。

園内外活動状況 （園外）6回

（園内）行事及びクラブ活動並びに誕生会毎月

## 5 佐倉地域包括支援センター

地域包括ケア推進に向けて、佐倉市社会福祉協議会との共同事業体により生活支援体制整備事業の推進、佐倉・南部圏域合同で在宅医療・介護連携推進地域ケア会議を開催し医療・介護連携を推進している。新規総合相談件数、継続支援件数は増加、指定介護予防支援利用者数は前年度とほぼ変わらないが、新規利用者数は減少している。

1 利用規模 佐倉市佐倉圏域（高齢化率 36.0% 高齢者数 10,223人）

2 職員数 正職7名 パート2名

3 利用状況

指定介護予防支援月別利用者数 年間延べ 4,278名（前年度 4,219名）

新規利用者数 年間延べ 108名（前年度 128名）

総合相談件数 年間延べ 792件（前年度 732名）

継続支援件数 年間延べ 2287件（前年度 2200件）

## 6 佐倉はくすい保育園

認可保育園は5年を経過し、登録児童も61名となり、3月には卒園生14名を小学校へ送り出すことができた。事業所内保育は高齢者施設、保育園の職員不足解消に寄与し、延1231名が利用した。病後児保育においては、利用人数は少ないが、体制を整えて待機している。平成27年度7月より実施した、一時預かり保育事業のニーズは0, 1, 2歳に多いが、定員枠内の利用に限られるため、利用者数は少ない。今年度も引き続き当園の特徴である、高齢者施設との交流の取り組みを実施した。ほぼ毎月同じユニットを訪問することで、訪問時だけでなく、普段のなじみの関係もできてきた。しかしインフルエンザやコロナウィルスの影響で令和2年1月からはほとんど実施できなかった。

### 1 認可保育所

(1) 利用規模 認可保育事業 (定員) 60名 病後児保育事業 (定員) 3名

(2) 保育職員会議 全12回

(3) 利用状況

認可保育事業 登録児童 61名 年間利用延利用人数 13,589名

1時預かり保育事業 登録児童 1名 年間延べ利用者人数 5名

病後児保育 事前面接件数 32件 (昨年44件)

年間利用人数 18名 (昨年10名) 延利用日数 19日 (9日)

### 2 地域子育て支援センター

(1) 実施内容 ミニ講座、身体測定、誕生会 1回/月  
園庭開放、育児相談

(2) 利用状況 延べ利用人数 526名 (350名)

相談件数 42件 (40件)

### 3 事業所内保育

(1) 利用規模 定員9名

(2) 利用状況 月極め利用 0名 一時利用 40名

年間延利用人数 1231名 (昨年1260名)

平均 4.0名/日 (昨年4.1名/日)

## 7 臼井はくすい保育園

開園より2年4ヶ月を経過し、利便性の良さからも順調に園児が増え、保育士も非常勤を含めて確保できた。昨年同様に、地域の住民や店舗との交流を図って行事を実施した。

室内では、体力作りのための体操指導や、英語に親しむ目的で外国人講師による英語遊びを継続して行った。

### 1 認可保育所

(1) 利用規模 認可保育事業 (定員) 50名

(2) 保育職員会議 全12回

(3) 利用状況

認可保育事業 登録児童 45名 年間利用延利用人数 9,722名

一時預かり事業 年間延べ利用者人数 14名